

第33回技術研究発表会 梗概 <Ⅱプロジェクト・技術報告>

D.プロジェクト・技術報告

【HP 掲載No.E04】

発表No.	E04
タイトル	さいたま市におけるスマートシティの取組 ～駅を核とした「スマート・ターミナル・シティ」に向けて～
所属・名前	さいたま市 田場 亮 株式会社日建設計総合研究所 本多久美子
キーワード	① モビリティサービス ② MaaS ③ スマートプランニング
新型コロナウイルスの感染拡大を機に、従来の生活様式が大きく変容し、より一層のスマートでレジリエントな社会への転換が求められる中、さいたま市では、先進技術を活用したニューノーマル時代のまちづくりに向け、AIやIoT、3D都市モデル等のスマート技術や官民データを活用したスマートシティの取組を推進している。 本プロジェクトでは、中心市街地モデルの「大宮地区」と郊外住宅地モデルの「美園地区」の2地区を先行モデル地区として、地域課題・ニーズにきめ細かく対応することにより、①健康で環境にやさしい脱クルマ依存型生活行動を支え地域回遊性を高める「モビリティサービスの充実」、②モビリティと地域経済活動が連携した「ライフサポート型 MaaS の構築」、③3D 都市モデルも活用した「スマートプランニングによるウォークブルな都市空間・環境の形成」の3施策の実践により、駅を核とした「スマート・ターミナル・シティ」を目指す。	